

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、一部に弱さがみられるものの、基調としては緩やかに持ち直している。

最終需要の動向をみると、公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は前年を下回る動きとなっている。個人消費は緩やかに回復している。住宅投資は下げ止まっている。この間、生産は持ち直しの動きが足踏みしている。雇用・所得環境は持ち直している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は前年を上回っている。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資・・・横ばい圏内の動きとなっている

5月の公共工事請負金額は、前年を上回った。国、県、市町村ともに発注が増加した。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2022年 6月	9月	12月	2023年 3月	4月	5月
山形県	10.8	▲37.8	69.5	▲21.8	▲28.4	45.6

〈資料〉東日本建設業保証(株)

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの(以下同じ)。

(2) 設備投資・・・前年を下回る動きとなっている

3月短観における2023年度の設備投資計画をみると、製造業は減少計画、非製造業は増加計画に転じ、全体では前年を下回る計画となっている。

この間、4月の建築着工床面積（民間非居住用）は、製造業などが減少したため、前年を下回った。

(図表2) 県内企業の設備投資額（2023年3月山形短観） 前年度比、%

山形県	2021年度(実績)	2022年度(計画)	2023年度(計画)
全産業	62.4	▲17.7< 6.5>	▲11.6
製造業	7.2	98.7< 7.9>	▲25.6
非製造業	101.7	▲61.6< 4.0>	15.6

〈資料〉日本銀行山形事務所

〈 〉内は前回調査比修正率、%

(図表3) 建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2022年 6月	9月	12月	2023年 2月	3月	4月
山形県	528.8	▲60.3	▲44.8	63.7	▲50.0	▲27.8

〈資料〉国土交通省

(3) 個人消費・・・緩やかに回復している

4月の百貨店・スーパー販売（全店ベース）は、8か月連続で前年を上回った。コンビニエンスストアは、14か月連続で前年を上回ったほか、ドラッグストアは、25か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、前年を下回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2022年 7~9月	10~12月	2023年 1~3月	2023年 2月	3月	4月
全店	▲1.0	2.2	2.0	2.1	2.5	5.3
既存店	▲0.1	1.7	0.0	0.2	▲0.5	1.8

〈資料〉経済産業省

5月の乗用車新車新規登録・届出台数は、9か月連続で前年を上回った。

(図表5) 乗用車新車新規登録・届出台数 前年比、%

山形県	2022年 6月	9月	12月	2023年 3月	4月	5月
乗用車 合計	▲4.0	33.1	0.7	22.1	12.9	22.3
普通車	▲5.6	24.8	▲3.5	40.7	32.3	51.8
小型車	▲12.7	35.0	▲17.0	4.0	6.8	▲12.1
軽四輪	4.8	38.8	18.5	22.0	1.7	32.6

〈資料〉東北運輸局

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に緩やかに回復している。

(4) 住宅投資・・・下げ止まっている

4月の新設住宅着工戸数は、持家、分譲、貸家のいずれも増加したため、2か月連続で前年を上回った。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2022年 6月	9月	12月	2023年 2月	3月	4月
山形県	▲24.2	▲26.1	6.6	▲25.5	68.0	65.6
持家	▲16.3	▲15.0	▲14.9	11.2	29.1	19.9
貸家	▲23.3	▲39.8	8.5	▲54.9	223.8	97.1
分譲	▲47.1	▲40.0	69.6	▲16.7	133.3	266.0

〈資料〉国土交通省

3. 生産・・・持ち直しの動きが足踏みしている

3月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月を上回った。業種別には、その他製品、家具など9業種で低下したものの、はん用・生産用・業務用機械、化学など13業種で上昇した。在庫指数（季節調整済）は、前月を上回った。

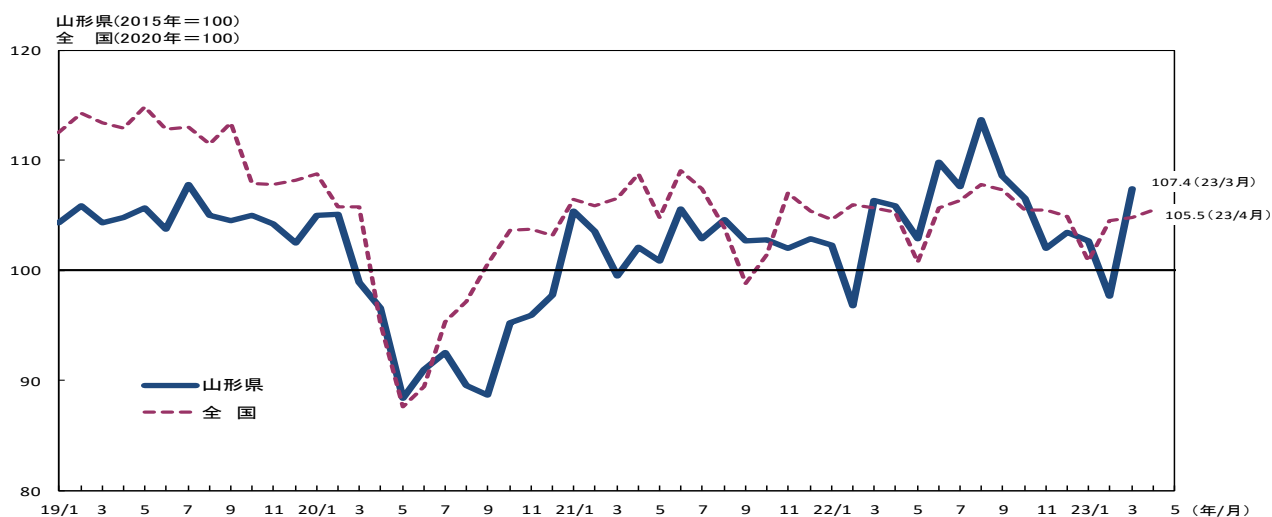
（図表7）鉱工業指数

2015年基準

山形県		2022年 6月	9月	12月	2023年 1月	2月	3月
生産	季節調整済前月比%	6.7	▲4.5	1.4	▲0.7	▲5.0	p 10.0
	原指数前年比%	4.0	5.8	▲1.1	0.5	2.4	p 1.0
在庫	季節調整済前月比%	10.6	5.0	▲3.3	▲4.1	3.8	p 5.6
	原指数前年比%	20.6	31.7	19.6	15.7	8.1	p 15.3

〈資料〉山形県

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移



〈資料〉経済産業省、山形県

4. 雇用・所得環境・・・持ち直している

4月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.49倍となった。業種別の新規求人数をみると、複合サービスや生活関連サービス・娯楽などで増加したものの、製造業、建設などで減少した。雇用保険受給者は、前年を下回った。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%、〈〉内は前年比

山形県	2022年 7～9月	10～12月	2023年 1～3月	2023年 2月	3月	4月
有効求人倍率	1.61	1.67	1.46	1.52	1.46	1.49
完全失業率	r 2.0	r 1.7	2.1	—	—	—
雇用保険受給者	〈▲5.4〉	〈▲6.7〉	〈1.7〉	〈▲3.2〉	〈1.7〉	〈▲0.2〉

〈資料〉厚生労働省、総務省、山形労働局

（注）有効求人倍率、雇用保険受給者の四半期データは、四半期末の水準。

3月の常用雇用指数は前年を上回った。所定外労働時間は前年を下回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2) 2020年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2022年 6月	9月	12月	2023年 1月	2月	3月
常用雇用指数	1.8	2.3	1.7	2.2	1.7	1.4
所定外労働時間	13.3	11.4	0.5	0.0	▲2.0	▲0.9

<資料>山形県

3月の現金給与総額(名目賃金指数)、きまって支給する給与は、前年を上回った。

(図表 11) 所得関係指標 2020年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2022年 6月	9月	12月	2023年 1月	2月	3月
現金給与総額 (名目賃金指数)	5.2	3.4	6.4	2.6	0.9	1.3
きまって支給 する給与	3.8	4.1	3.3	3.1	2.1	1.5

<資料>山形県

5. 企業倒産 . . . 低水準で推移

5月の企業倒産(負債額10百万円以上)は3件、負債総額は3.5億円となった(前年同月は3件、11.2億円)。

(図表 12) 企業倒産 件、億円

山形県	2022年 6月	9月	12月	2023年 3月	4月	5月
件数	2	2	4	3	2	3
負債総額	1.6	2.4	1.9	0.8	4.6	3.5

<資料>(株)東京商工リサーチ

6. 物価 . . . 前年を上回った

4月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、食料品などの価格上昇から前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数 2020年基準、前年比、%

山形市	2022年 6月	9月	12月	2023年 2月	3月	4月
総合	2.7	3.2	3.9	3.6	3.3	3.1
生鮮食品を除く総合	2.4	3.1	3.8	3.4	3.2	3.0

<資料>山形県

7. 金融

4月の県内預金(銀行+信用金庫)は、前年を上回った。県内貸出(銀行+信用金庫)も、前年を上回った。この間、4月の貸出金利は低下した。

(図表 14) 預金、貸出金 %

山形県	2022年 6月	9月	12月	2023年 2月	3月	4月
実質預金+CD (末残前年比)	2.5	1.8	0.8	1.5	1.3	1.2
貸出金 (末残前年比)	1.1	1.3	2.0	3.0	2.1	2.2

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利 %ポイント

山形県	2022年 7~9月	10~12月	2023年 1~3月	2023年 2月	3月	4月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.022	▲0.008	▲0.006	▲0.007	▲0.008	▲0.009

4月末水準
0.864%

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

<p>(内容に関するお問い合わせ先) 日本銀行山形事務所 TEL: 023-622-4004</p>
--